

## 第9回保育部会研究委員会報告書

浜田市保育連盟会長 山 崎 央 輝			保育部会長 宮本 ゆかり		
開催 日時	令6年10月29日	開催場所	浜田市総合福祉 センター 研修室	記 録 者	渡邊 さやか (三隅保育所)
	14:00 ~ 17:00				
出席者	うみかぜこども園 おぐに保育園 くもぎ保育園 浜田ひかり保育所 みのり第2保育園 三隅保育所			欠 席 者	なし
【協議内容】					
①食事 ②あそび(環境) ③異年齢との交流 ④子どもの姿からの語り合い の自園での取り組みや様子、課題などについて、報告や意見交換などを行う。					
A園 ○子どもの姿からの語り合い					
・保育ウェブを使って行う。月1回できるのが理想。					
○異年齢交流					
・行きたい時、行ける時にグループで行く。(上のクラスの子が0, 1, 2歳クラス へ行く。) 時間は決まっておらず、その日の様子を見て担任間で相談する。 →子どもたちが自然とかかわる姿が増えてきた。					
B園 ○異年齢児交流					
・週1回したいが、できない現状。以上児との交流が難しい。					
・年齢が上の子どもとのかかわりがあることで遊びや行動範囲が広がる。					
○食事					
・子どもの意思を尊重したいが、担任間の価値観や保育観の差があって難しさを感じ ている。					
C園 ○食事					
・1, 2歳児ではなく、0, 1歳児と一緒に食べることで落ち着いた。					
・テラスで食事をし、子どもが好きな席に座って食べる。					
D園 ○食事					
・牛乳を『どちらか(2択)』ではなく『どれがいいか(複数の中から選択)』で子ども が選ぶ。→苦手意識のある子もスムーズに飲めるようになったと感じる。					
○異年齢児交流					
・以前よりも交流が増えてきたが、まだクラス保育観が強く、日常の中での交流が少 ない。					
E園 ○異年齢交流					
・食事をみんな一緒に食べる。					
・子どもを通して、子どもに声をかける。					

- ・上の子を真似して片づけたり食べたりする姿がある。
- あそび
  - ・子どもがお互いに相談し合っただかかわる。
  - ・小さい子が大きい子を頼ったり、真似をしたりする。  
→日々のかかわりの中、お互いに安心感や信頼感が育っている。
- 子どもの姿からの語り合い
  - ・午睡時間にクラス担任で話をする。
  - ・職員が集まった時に様子を話す。  
→職員間で子どもへのかかわり方の共通認識ができる。

F園 ○食事

- ・好きな時に来て食べるスタイル…バタバタする、落ち着かない、職員がずっと配膳にかかわっているなどの困りごとが出てきた。
- ・食具の選択(スプーンかフォークか)を子どもがする。
- 異年齢児交流
  - ・いつでもかかわることができる環境。
  - ・小さい子に興味がない子もいるため、『お世話の日』を検討中。
  - ・ミルクの時間など、手が足りない所を年長児に頼ると張り切る姿が見られる。
- 子どもの姿からの話し合い
  - ・月に2回くらい未満児、以上児それぞれで行っている。

●次回までに…

- ・実践して見えてきたこと(メリット・デメリット、実践するにあたっての難しさや課題)を、自園に当てはめて各自が考えてみる。
- ・①～④の実践は継続して行う。

★次回研究委員会…12月17日(火) 14:00～

総合福祉センター研修室にて開催予定

以上

各園の実践や、それからの変化、課題などの情報交換を行いました。日々の保育や、今後の活動を行っていく上で有意義な話し合いができました。引き続き実践を行い、内容を深めていきたいと思ひます。